



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第8号

令和5年(2023年) 7月20日(木)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



すてきな大人へ一歩近づきました！

錦中生のみなさん、1学期が終了しました。慌ただしく駆けぬけた日々、充実した70日間となったでしょう。授業中、だれよりも積極的に発表した人、確実にノートをとった人、毎日大きな声であいさつをした人、清掃活動にひたむきに取り組んだ人、汗をいっぱいかいて部活動に没頭した人、「目配り・気配り・思いやり」をもって仲間に優しく声かけした人、地域行事に積極的に参加した人。錦中生はこの70日間で「すてきな大人」へ一歩近づきました。

終業式の話～「後悔のフレーズ」でスタートしないために～

「始業式の日から今日まで102日間(2448時間)が過ぎようとしています。あっという間だったのではないのでしょうか。楽しかったこと、うれしかったこと、悲しかったこと、辛かったこと、様々な思いで102日間を過ごしたことでしょう。あれをしておけばよかった、あれをしなければよかったと思うこともきっとあるはず。ところで、1学期でみなさんの『頭の偏差値』と『心の偏差値』は上がりましたか」と尋ねてみました。そして、「9月1日(金)2学期始業式、体育館で夏休みの42日間(1008時間)を過ごした後、振り返ってみると、あっという間だったのではないのでしょうか。『頭と心の偏差値』は上がりましたかと、みなさんに尋ねます」と予告しました。9月1日に「早くから宿題をしておけばよかった。あれをしなければよかった」と同じような『後悔のフレーズ』で夏休みを終えてほしくないのが、野球好きな私が尊敬している先輩校長から教えてもらった一冊の本『甲子園への遺言(伝説の打撃コーチ高島導宏《たかばたけみちひろ》)』を紹介しました。これはかつてNHKで放映されたドラマ『フルスイング』の原作であり、主人公のモデルになった人のお話です。

高島導宏さんは、高校教師でした。彼は平成16年夏、還暦を迎えてわずか半年足らずのまだ60歳の時にすい臓がんで亡くなりました。この高校教師は、ちょっと変わった経歴の持ち主なのです。実は30年間にわたって、なんとプロ野球の打撃コーチを務めていたのです。渡り歩いた球団は7つもあります。独特の打撃理論とずば抜けた洞察力で選手たちを指導し、時には相談に乗り、汗と涙を共にしながら、気が付けば延べ30人以上のタイトルホルダーを育て上げたのです。その中には、元中日ドラゴンズ監督、2回の三冠王を獲得した落合博満さんや伝説のメジャーリーガーのイチローさんも教え子の一人なのです。しかし、この伝説の打撃コーチは、50歳代半ばで一念発起し、高校教師になるために通信教育で勉強を始めるのです。そして、5年かけて教員免許をとり、社会科の教師として教壇に立ち、甲子園をめざすのです。彼の育てたチームは着々と成長していくのですが、志半ばで、病に倒れるのです。

そんな彼が長いプロ野球打撃コーチ時代に感じたことを彼の周囲の人に語った言葉の中に、次のことがあります。『挫折していった多くの選手と成長した選手の間には、はっきりとした違いが見えてきた。それは、成長した選手にはいくつかの共通点がある。』として、次の7点を挙げていました。

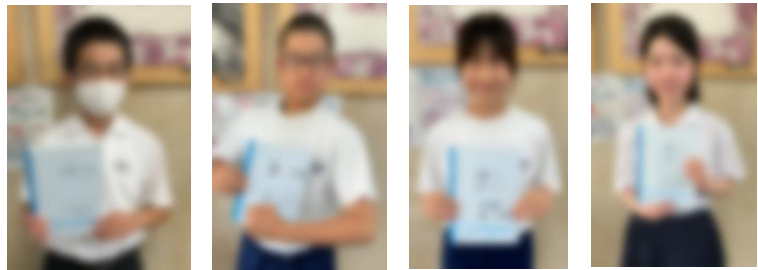
- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1 素直であること | 2 好奇心旺盛であること |
| 3 忍耐力があり、諦めないこと | 4 準備を怠らないこと |
| 5 几帳面であること | 6 気配りができること |
| 7 夢をもち、目標を高く設定することができること | |

現在、日本だけでなく世界中に夢を与えているメジャーリーガー大谷翔平選手はすべてが揃っているような気がします。このことは、野球のみならず他のスポーツや勉強にも大いにあてはまるのではないのでしょうか。9月1日、2学期始業式の日、『後悔のフレーズ』でスタートしないためにも、夏休みの42日間(1008時間)で『頭と心の偏差値』をさらに伸ばすことを期待します。すてきな夏休みにしてください。やればできる! 君たちならできる!

ちなみに私の尊敬している先輩校長先生は退職後、母校の野球部コーチとしてこの夏、選手たちと一緒に甲子園をめざしておられます。本当にすてきです。

校長室前に8名の生徒の写真が貼ってあります

校長室前の生徒の写真が8名に増えました。かけはし第6号で変心ノート提出者を紹介してから7月14日(金)現在で4名増えました。校長にとっては、うれしいことです。9月1日2学期がスタートする



頃にはもっと写真が増えることを想定して、飾る場所を夏休み中に検討しておきます。くどいようですが、夏休みは42日間(1008時間)あります。『頭と心の偏差値』を伸ばすためにも是非変心ノートを活用してください。「継続は力なり」です。やればできる! 君たちならできる!

※第5号(1年Hさん)第6号(1年Yさん)第7号(1年Hさん)第8号(Hさん)

いざ 勝負!! ~男女バドミントン部の挑戦~

男女バドミントン部が山口県中学校バドミントン選手権大会に挑みます。

7月24日(月)25日(火)に山口市の維新大晃アリーナで開催されます。初日は男子団体戦が行われ、1回戦は山口市の野田学園中学校との対戦になります。2日目は男子シングルスに Kさん(3年)・Kさん(3年)・Yさん(2年)、男子ダブルスに Sさん(3年)Tさん(3年)ペア・Hさん(3年)Kさん(3年)ペア・Uさん(3年)Kさん(2年)ペア、女子ダブルスに Kさん(3年)Yさん(3年)ペアが出場します。これまでこの大会に向けて準備してきたことをすべて出し切ってきてください。やればできる! 君たちならできる! 健闘を祈ります。



男子バドミントン部は勝利にこだわり、絶対に最後まであきらめません!

男子バドミントン部キャプテン Kさん

3年間習ってきたことを大会で最大限出して1点でも1勝でも多く勝ち取れるようがんばります!

女子バドミントン部キャプテン Kさん